



Quanto Basta

国産無薬剤の木製品

適量生産だから 貫けるこだわりを

QuantoBastaとはイタリア語で“適量”。大量生産ではなく適量生産にこだわることにより、お届けできる商品や価値があると考えています。国産無垢材を使い、職人達の技術と誇りによってできたオリジナルのライフスタイルブランドです。

日本の林業と 職人技を守りたい

日本は国土の2/3が森林に覆われ、先進国の中では有数の森林王国にも関わらず、木材自給率は食品よりも低い約36%。これは、価格が安い外材が大量に輸入されるから。「豊かな森林を適正に管理し、保水力のある安全な状態を維持するためにも、日本の林業を支えていくのは大切なことです」と、代表の中田千賀さん(46才)。

国産材を使った身近な良品を多くの人が愛用することが、日本の林業を支える一助となります。また、木地の加工や拭き漆塗りなど、職人技の伝承にもつながります。

無薬剤、一枚板、 仕上げの安心

食の道具ですから、もちろん使う人の安心も最重要。QuantoBastaの木製品は、「3つのあんしん」を約束します。①無薬剤(材料となる木材も、加工途中においても、薬剤は一切使用しない)②一枚板(一枚板のため接着剤は不使用。いずれも国産材を使用)③仕上げ(無塗装または漆や米油など天然由来成分で塗装)です。

月齢伐採ヒノキの まな板

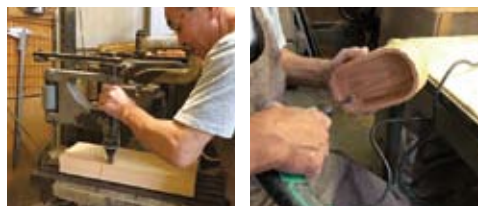
食まな板の素材は、静岡県天竜産のヒノキを「月齢伐採」し、「葉枯らし天然乾燥」したヒノキ材です。月齢伐採材(新月期に伐採した材木)は、腐敗やカビに強く、反りや曲がりも少ない、耐久性のある素材です。葉枯らし天然乾燥とは、伐採した状態のまま枝打ちもしないで1ヶ月ほど乾燥させる伝統的な乾燥方法で、天然の抗菌成分フェノールが増え、カビや腐敗に強い木材となります。CO2を排出して強制的に乾燥さ

せる機械乾燥に比べて、木にも地球にもやさしい手法です。

月齢伐採ヒノキの くり抜き弁当箱

まな板に続いて、「安心して使えて、冷めてもおいしい弁当箱がほしい」という声に応えて作ったのが、くり抜き弁当箱。まな板と同じヒノキ材を、製材後さらに1年ほど天然乾燥させた後、職人さんがくり抜いて作ります。だから継ぎ目がなく、内側を丸く加工して角がないので洗いやすいのもうれしい点。くり抜いてヤスリで仕上げるので、接着剤も不使用です。

無塗装のヒノキ材100%の、まさに持ち歩ける「おひつ」。いただくときのごはんのおいしさは格別です。日々愛用して、その価値を実感してください。



63973 (クアントバスタ)

月齢伐採ヒノキのまな板 角丸S

¥6,800 (本体価格) ¥7,344 (税込価格)

63974 (クアントバスタ)

月齢伐採ヒノキのまな板 角丸M

¥7,800 (本体価格) ¥8,424 (税込価格)

63975 (クアントバスタ)

月齢伐採ヒノキのまな板 角丸L

¥8,800 (本体価格) ¥9,504 (税込価格)



4月23日発売

63971 (クアントバスタ)

月齢伐採ヒノキのくり抜き弁当箱 #1

¥7,500 (本体価格) ¥8,100 (税込価格)

63972 (クアントバスタ)

月齢伐採ヒノキのくり抜き弁当箱 #2

¥7,800 (本体価格) ¥8,424 (税込価格)



4月23日発売

